

東北労働金庫「ろうきん地域貢献ファンド」 2010年度
Cコース（備品購入助成） 助成事業報告書

2011年 4月 4日

団体名（ふりがな） 特定非営利活動法人 仙台夜まわりグループ
購入物品名 路上生活者支援 炊出し用具（屋外使用） （ガスバーナー・LP ガス容器・ホース・ガス調整機・風よけ・寸胴鍋）
助成金を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。 （購入した物品の写真は必ず添付してください。） 毎月定例で行われる路上生活者支援の炊出しに活用しています。 一度に約 400 食分のカレーライスや豚汁をつくる事が容易になりました。

今回の物品購入によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか

仙台市には今も 100 名を越える路上生活を余儀なくされている方がおられます。極寒の東北では、毎年、低栄養による凍死者が出ています。そんな過酷な中で路上生活を余儀なくされている方々に、お腹いっぱい温かい物を食べてもらい、そこから明日の一步を一緒に考えていきたいとの願いで始めた炊出しです。この場に参加したのがきっかけで、相談・支援を行い、病院やお部屋入居へとつながった方が、毎月 10 名を下りませんでした。

そんなさなかに、3月11日、東日本大震災が発生しました。

仙台夜まわりグループ活動の拠点である若林区は、仙台市でもとりわけ被害が大きい所でした。しかし、スタッフ一同、身体的被害に見舞われる事無く、震災の翌日 12 日から、いつも通りの路上生活者支援を行いました。

ライフラインが断たれ、テレビを目にする事も適わない中、ラジオからの情報だけでしたが、被災し、食べる事が出来ない方々がおられる現実に直面し、急遽、一般市民の被災者に向けての支援を決定し、仙台夜まわりグループ事務所である仙台喜望の家にて、炊出しを行う事にいたしました。駐車場も広く事務所の前は公園、JR 東北線電車が動かず車の動きも少ない、という立地環境が幸いしました。

初日の 14 日は 1000 食のカレーライス、翌日からは 900 食の豚汁とおにぎり、牛肉入り野菜炒めと具たくさんのみそ汁とおにぎり、牛乳入りコーンスープ、牛乳入りクラムチャウダー、チキンラーメンなど、暖かいものを提供する事ができました。

3 日ぶりに食事が出来たと涙する方、これまで一つのおにぎりを 3 人で分けていたという方など、炊き出しがどれだけ市民の方々の必要に応えたかは、枚挙にいとまがありません。何度もお代わりをされ、毎日 30 分位でなくなる程でした。多くの協力者によって支援物資の提供を受け、また、ボランティアの参加もありました。仙台市のボランティアセンターからの応援もありました。

一般市民向けの炊き出しは、合計 14 回提供する事ができました。この炊出しも、用具が無ければかなわなかった事ですし、ガスバーナーや LP ガスをお世話くださった東日本エア・ウォーター・エネルギー様が被災され営業しておられなかったにもかかわらず、特別にプロパンガスを手配してくださった事が、暖かい食事提供につながりました。今回の震災の被災者支援で最も活躍したのは、今回購入できなかったガスバーナー一式でした。結果的に二週間で、のべ 7000 食分を提供する事ができました。

今後とも必要に応えるため、ホームレス支援にとどまらず、あらゆる機会にこの機材を有効活用していく所存です。

以下、今回の炊き出しに来られた被災者の女性からの、お礼のメールをご紹介します。

『地震から数日後においしいカレーをご馳走になり、子どもと本当に救われ心が温まりました。辛い時に明るい振る舞いをいただき、涙が出ました。この恩は忘れません。毎日活動されてる皆様に感謝と、そしてどうか体調崩されませんように。復興に向けてお互いがんばりましょう！！』

今回購入した物品を活用して、今後、事業をどのように展開していきますか
また、その際に必要なものは何ですか

より小さくされている所、より困難を抱えている所へと出向いていき、支援の手を伸ばしていく事を活動当初から大切にまいりました。

これからも路上生活を余儀なくされている方々を中心として、困難な状況にある方々への支援を精一杯行います。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ろうきん地域貢献ファンド助成金	100,000	
自己資金	352	
合計	100,352	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
バーナー2台	42,000	
LPガス容器2台	18,900	
調整期・ホース	0	特別貸し出しおよびサービス
寸胴鍋2個	19,376	
風よけ2台	20,076	
合計	100,352	

<ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

路上生活者支援のみならず、この度は思いがけず、大震災による被災者支援を行いました。

毎日 300 人を越える方々が来られる中、しっかりした用具あってこそその支援活動だと、思われました。購入させていただいた用具は、大切に有効に使用いたします。ほんとうにありがとうございました。